

児童生徒に「確かな学力」を身に付けさせる場、それは何と言っても日々の授業です。授業の質を高めることは、「教育のプロ」として、私たち教師に課せられた使命であります。

学習指導案を作成しての授業実践は、「わかる・できる授業」への授業改善を図る良い機会となります。教科によって多少違いはあるかと思いますが、是非、下の指導案例を参考に学習指導案を作成し、授業研究等に役立てていただきたいと思います。

第〇学年 〇〇科 学習指導案

平成〇〇年〇月〇日 (〇) 第〇校時
場所〇〇〇〇 指導者〇〇〇〇

1 授業テーマ

2 単元(題材)名 ()

3 単元(題材)の目標

- (1) 「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」「技能」「知識・理解」などから、単元(題材)の学習を通して目指す子どもの姿を示す。(教科により、いくつかに絞ったりまとめて表記したりすることもある。)
- (4)

4 単元(題材)について

- (1) 児童観 (生徒観) 「〇〇が苦手」のような一般的な姿でなく、授業テーマ、単元(題材)の目標との関わりでとらえる。その際、これまでの学習の様子(学習活動の経験)や諸検査や意識調査の結果などをもとに情意面も含めて客観的に分析する。

- (2) 教材観 単元(題材)の目標に掲げた内容を身に付けさせる上で、その教材のよさ(有用性)や指導事項の系統性を明確にする。

- (3) 指導観 児童(生徒)観や教材観を踏まえた上で、単元(題材)の目標を達成するための具体的な手立てとそれによって目指す児童生徒の姿を明記する。前段では単元(題材)全体について、後段では、本時の位置付け及び具体的な指導の工夫について述べると分かりやすくなる。

5 指導計画(総時数〇時間 本時〇/〇〇時)

- (1) 単元(題材)全体の指導計画について、学習内容、主な学習活動、ねらい、指導事項等を端的に表現し、本時の位置付けを明確にする。
- (5) ※ 評価規準表と関連付けて表記することも有効である。
※ 教科によって、表記する単元は、中単元の場合もある。

6 本時のねらい

～ について、 ～ することにより、 ～ することができる
(学習内容) (学習活動や手立て) (目指す姿)

※ 本時の学習内容に対して、学習活動や指導の手立てを明確にするとともに、本時で目指す子どもの姿を観点別に具体的に示す。

※ 1単位時間でねらう観点は、1～2観点が望ましい。

※ 単元(題材)の目標や授業テーマとの関連も踏まえる。

段階	学習活動・内容	時間	○指導上の留意点 ●評価
課題把握	1 前時の復習、既習事項の確認をする。 2 …し、本時の学習課題をとらえる。 学習課題は、 <div data-bbox="284 371 692 510" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ○なぜ～なのか？ ○～なのは、どうしてか？ ○「Aか？Bか？」等 </div>	5分	○効果的な資料の提示等、具体的な手立てを講じて、本時の課題をとらえさせる。 <div data-bbox="858 338 1394 510" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ○「～を調べよう」「～について考えよう」の課題は、内容・方法の見通しをもちにくいだけでなく、解決意欲が高まりにくい。 ○本時のねらいと直結した学習課題であること。 </div>
課題解決	3 課題に対する見通し(予想)をもつ。 ○…だから…ではないかと思う。 ○…から見て…Bだと思う。等 <div data-bbox="284 645 692 719" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ○予想される考え等を記述する。 </div> 4 課題について…して追究する(調べる、話し合う等) ○…の資料を活用して、…について調べる。 ○グループ(ペア)で…について話し合う。 <div data-bbox="284 954 692 1070" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ○学習内容を明記する。 (学ばせたいこと、気づかせたい視点など) </div> 5 …について…したことを…する。 ○…について、互いの考えを発表し合う。 ○話し合ったことをもとに…する。 <div data-bbox="284 1245 692 1330" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ○学習内容を明記する。 </div> 6 教科によっては、適用問題等々を解く活動を行う。	30分(35分)	○教えるべきことと主体的に学習させることを明確にし、課題解決に向けた手順を確認する。 ○課題に対する自分なりの考えを書かせることで、課題解決に向けた意欲の高揚を図る。 ○個に考えさせる時間を確保し、机間指導等において、実態把握と個に応じた支援を行う。 ○児童生徒が主体的に学習に取り組み、課題に対し、自力で追究する場と時間を十分確保する。 <div data-bbox="858 831 1394 1128" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ○主体的な学習を展開させる際の留意点 ・教師の説明は端的に短時間で行う。 ・学習形態(個・ペア・グループ・全体)は、その目的を明確にした上で、取り入れる。 ・「話し合いマニュアル等」の活用を図る。 ・教師自身が、学習内容・具体的な手立て・目指す姿を明確にする。 ・一人一人の学習活動をよく観察し、個に応じた支援(認め、ほめる)の充実を図る。 </div> ●本時のねらいに直結した学習内容・学習活動を中心に、方法も明記して具体的に評価する。 ○本時のねらいに対して、不十分な子どもに対する手立てと上位の子どもをさらに伸ばす手立てをあらかじめ準備しておく。 <div data-bbox="858 1330 1394 1480" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ○「本時のねらい」と「学習課題」、「中心となる学習活動・内容」「評価」「まとめ」が一連の流れとして位置付ける。 (指導と評価の一体化) </div>
まとめ	7 本時の学習について振り返り、自分なりにまとめる。 <div data-bbox="284 1603 692 1704" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ○本時の学習を踏まえて、学習課題に対する自分の考えをまとめる。 </div> 8 次時の学習について話し合う。 ○予習課題を確認する。	10分	○まとめをするのは、児童生徒自身である。 内容のまとめに加えて、初めの考えがどう変わったか、変わらなかったか、それはなぜかなど学習方法を振り返ることが大切である。 ○本時の学習内容について振り返る際は、キーワードとなる用語や語句を確認し、本時の学習課題に直結する「まとめ」を自分の言葉で記述させる。(児童生徒の発表内容を教師がまとめることはある) <div data-bbox="858 1827 1394 1906" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ○何が分かって何が分からなかったかを子ども自身が明確に理解することが大切である。 </div> ○子どもの疑問に答えたり、次時につながる課題を提示するなどして、次時の学習への意欲を喚起する。

